

MCEI TOKYO

Marketing Communications Executives International

第12回 MCEI実務家気まぐれアンケート

「実務家から見た経済現況：アベノミクスの通信簿」
実感アンケート

集計結果より

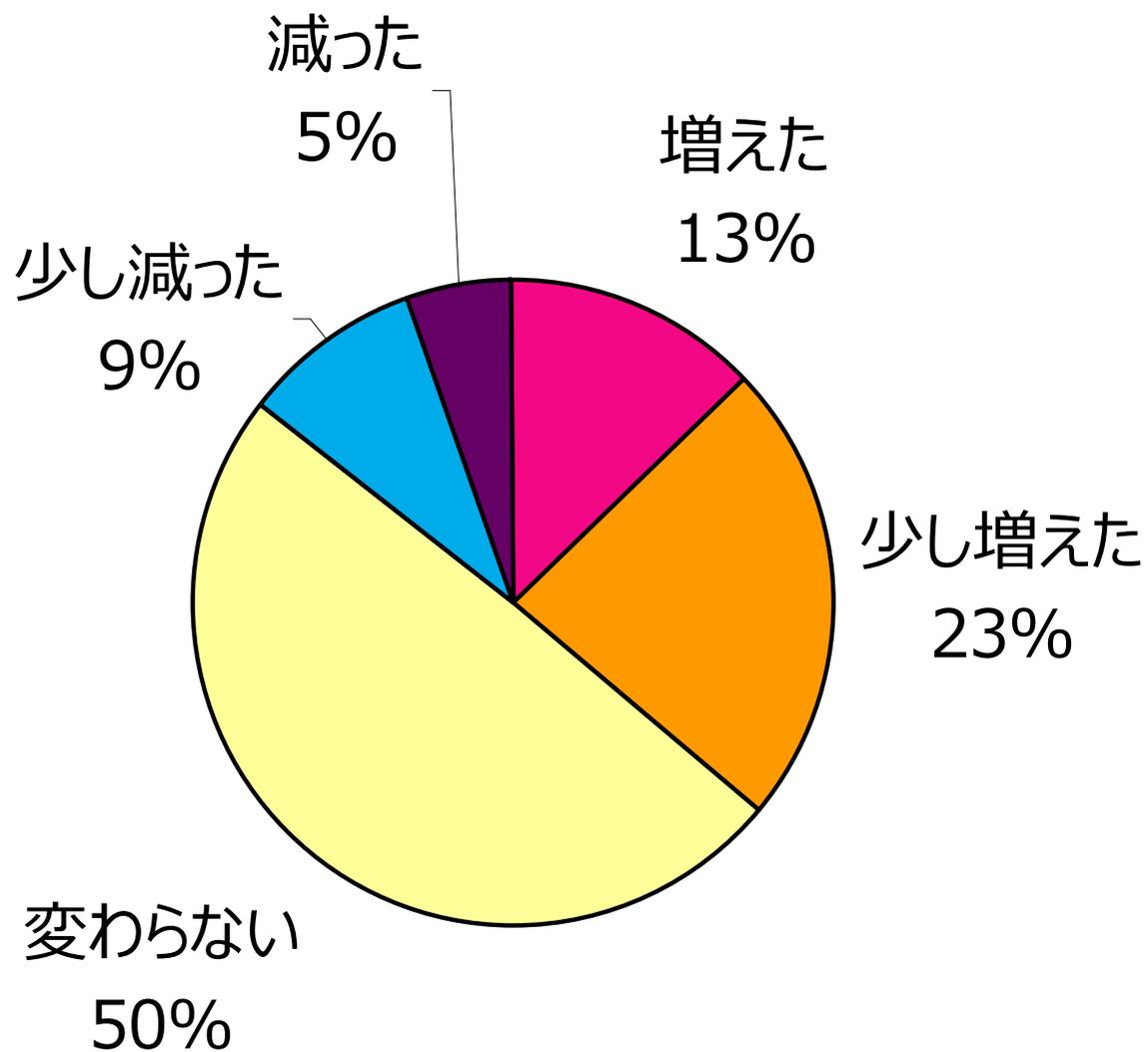


TOKYO

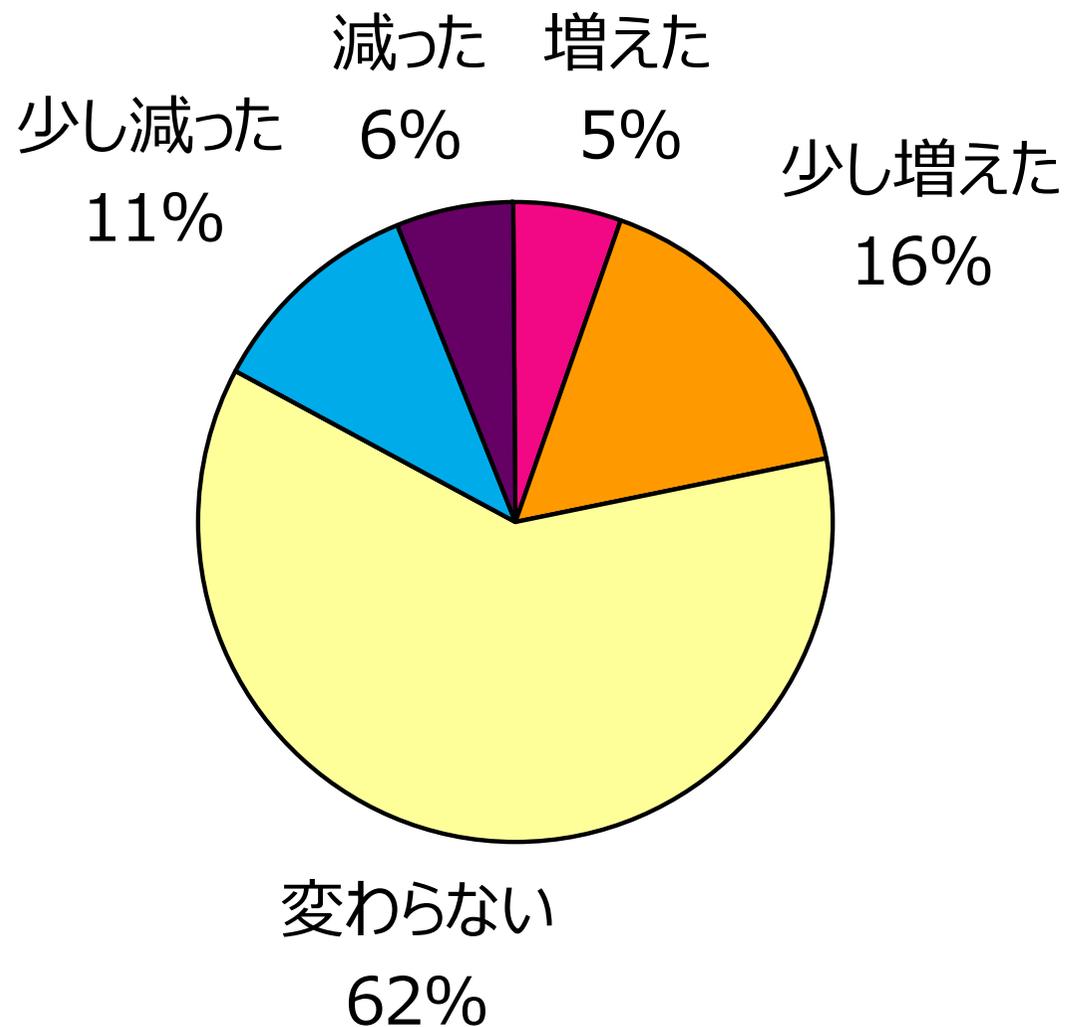
2015.7.1

MCEI 東京支部コミュニケーション委員会

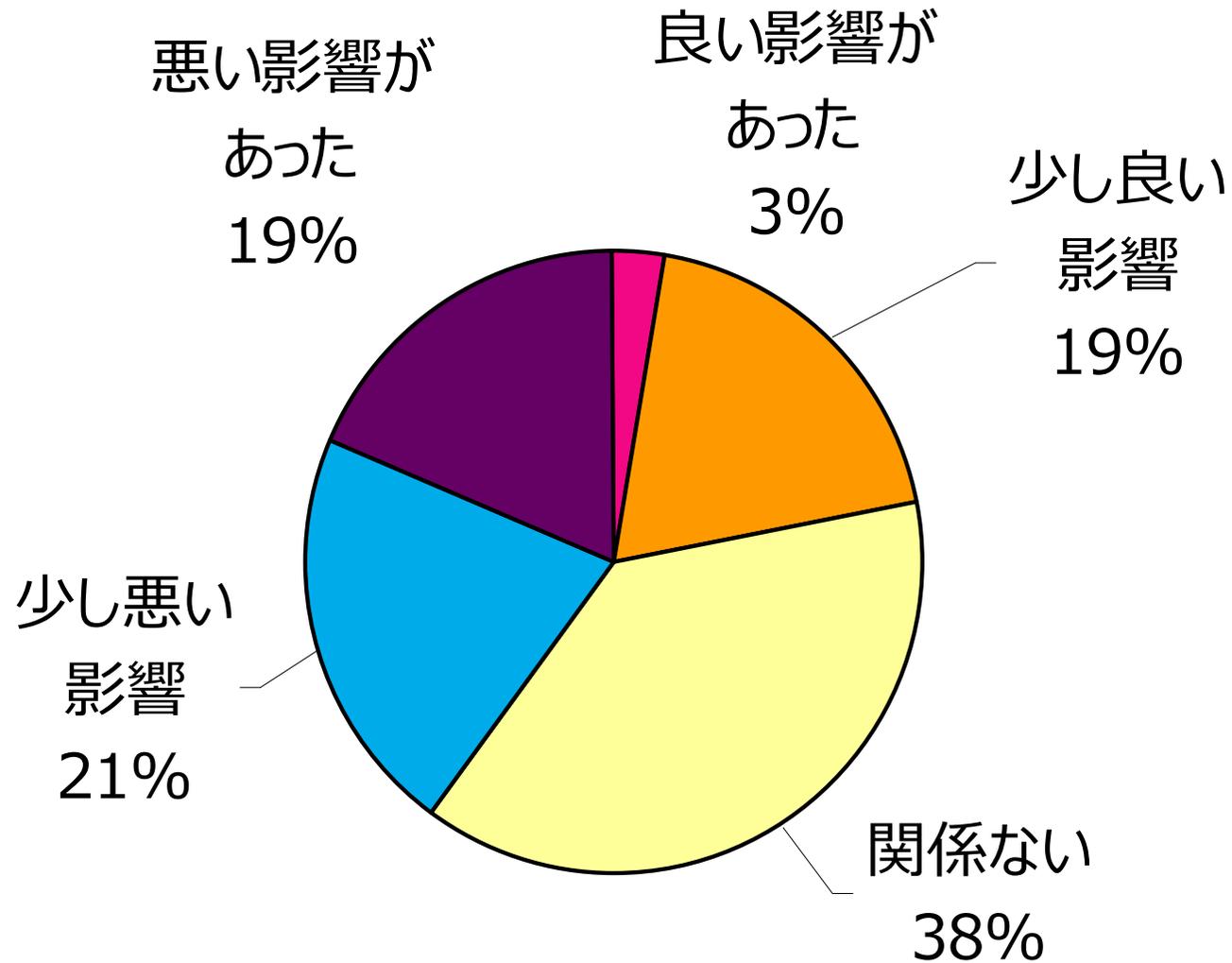
Q1. 前年度と比べて、あなたの仕事自体や、残業は増えましたか？



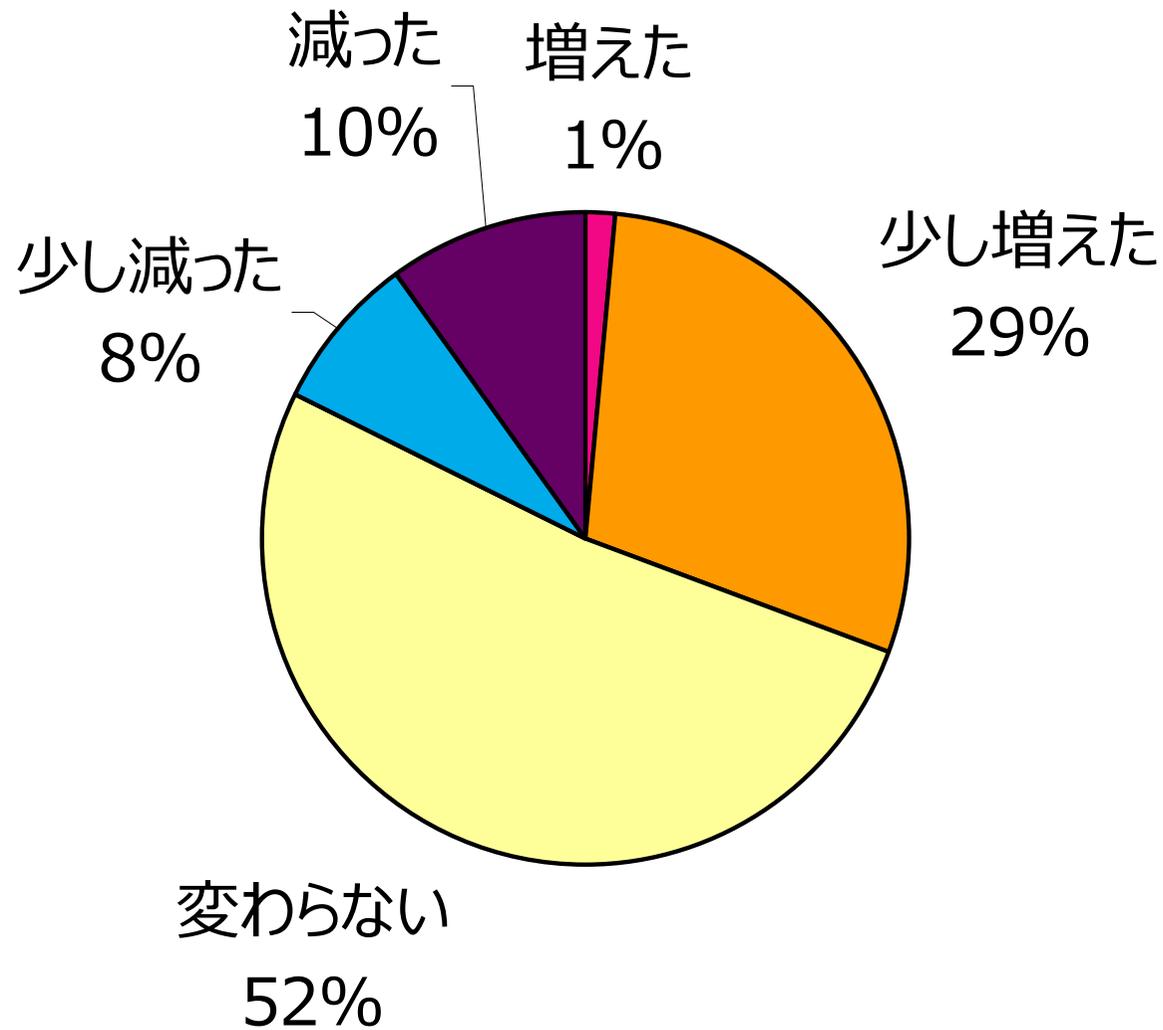
Q2. 前年度と比べて、あなたの会社のマーケティング予算は増えましたか？



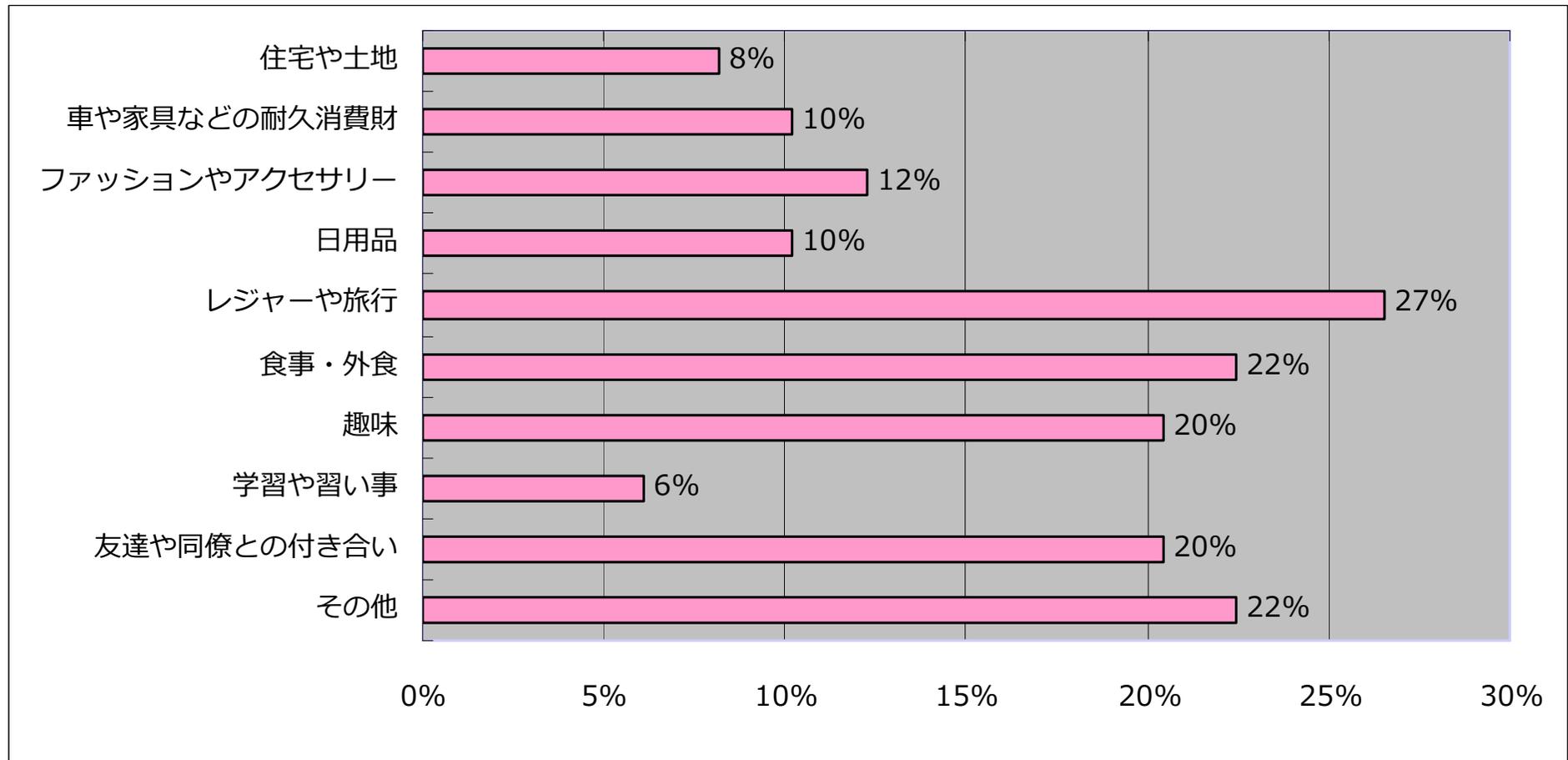
Q3. 円安はあなたの会社や仕事に影響がありましたか？



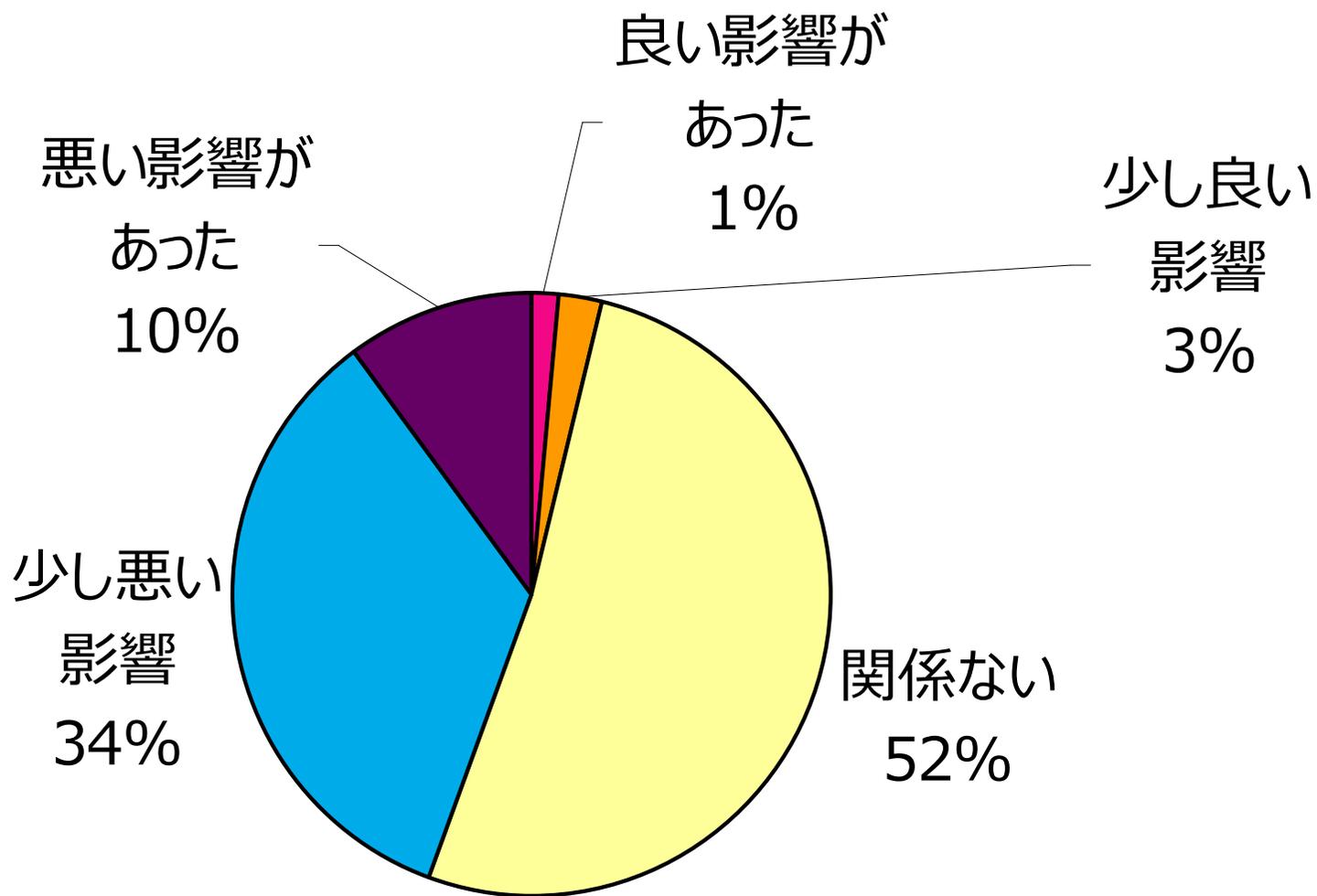
Q4. 前年度と比べて、あなたの給料やボーナスは増えましたか？



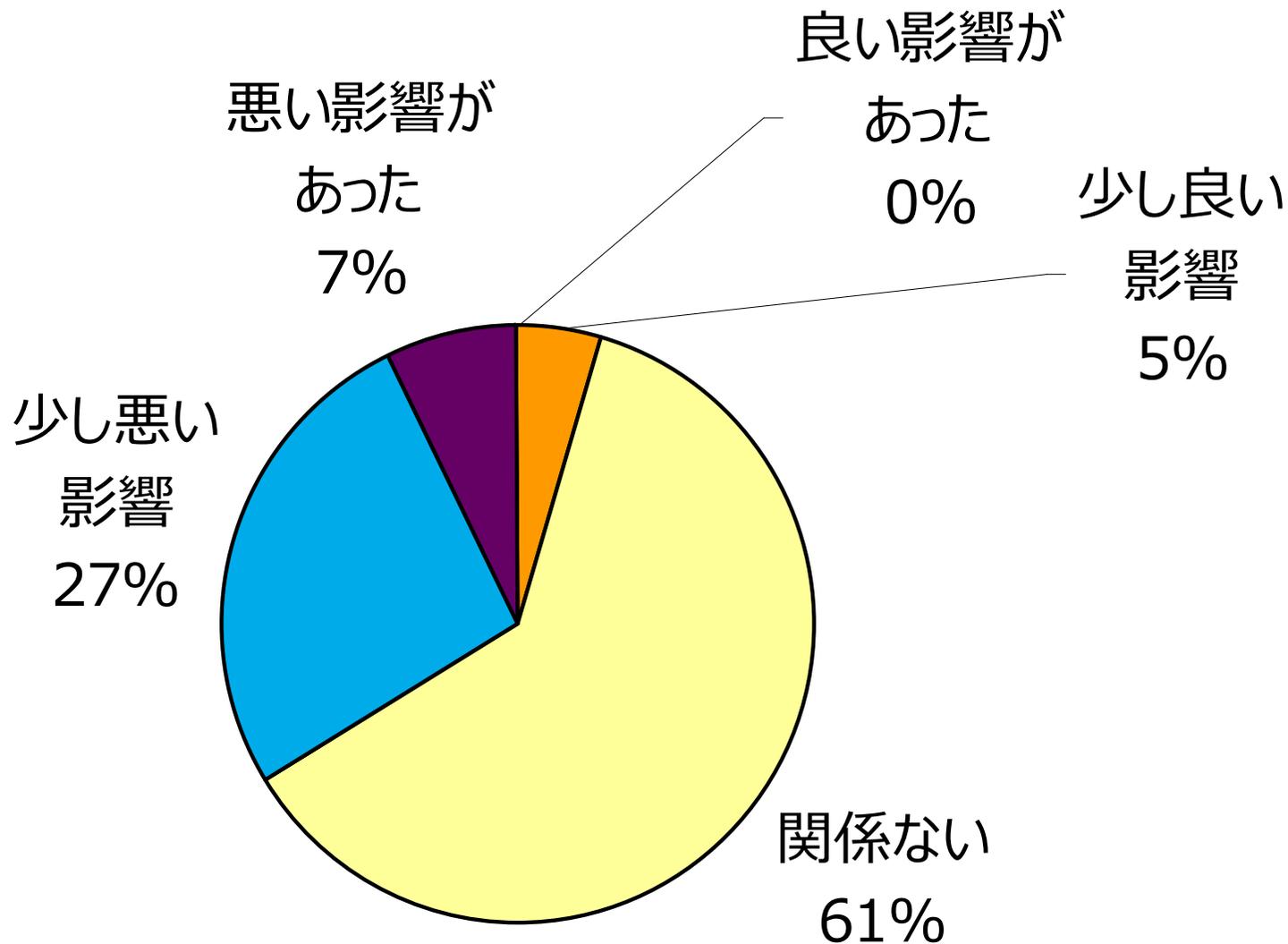
Q5. 収入が増えた方は、そのお金を何に使いましたか？ (いくつでも)



Q6. 消費税が8%に変わってから、あなたの家計や暮らしに影響はありましたか？

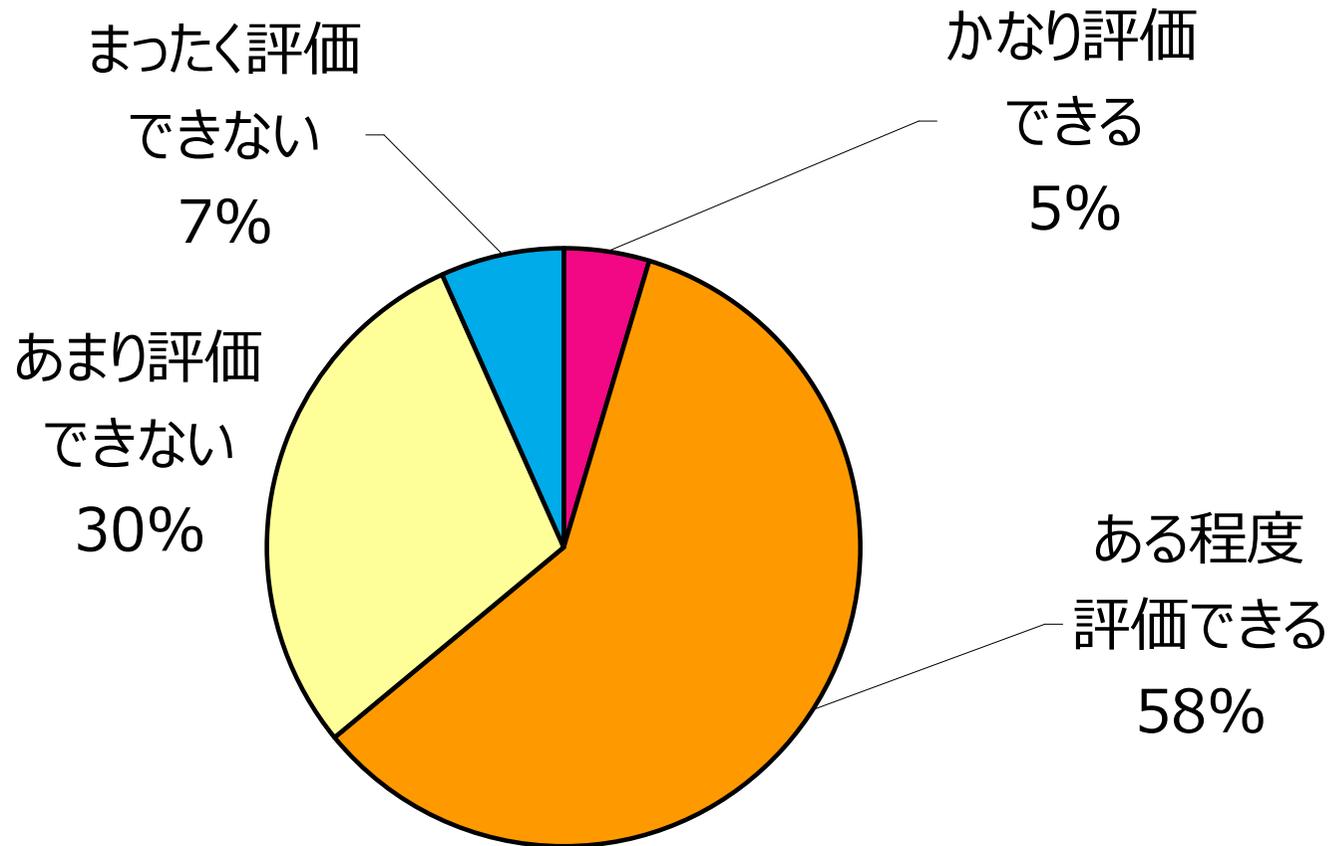


Q7. 消費税が8%に変わってから、あなたの**仕事**に影響はありましたか？



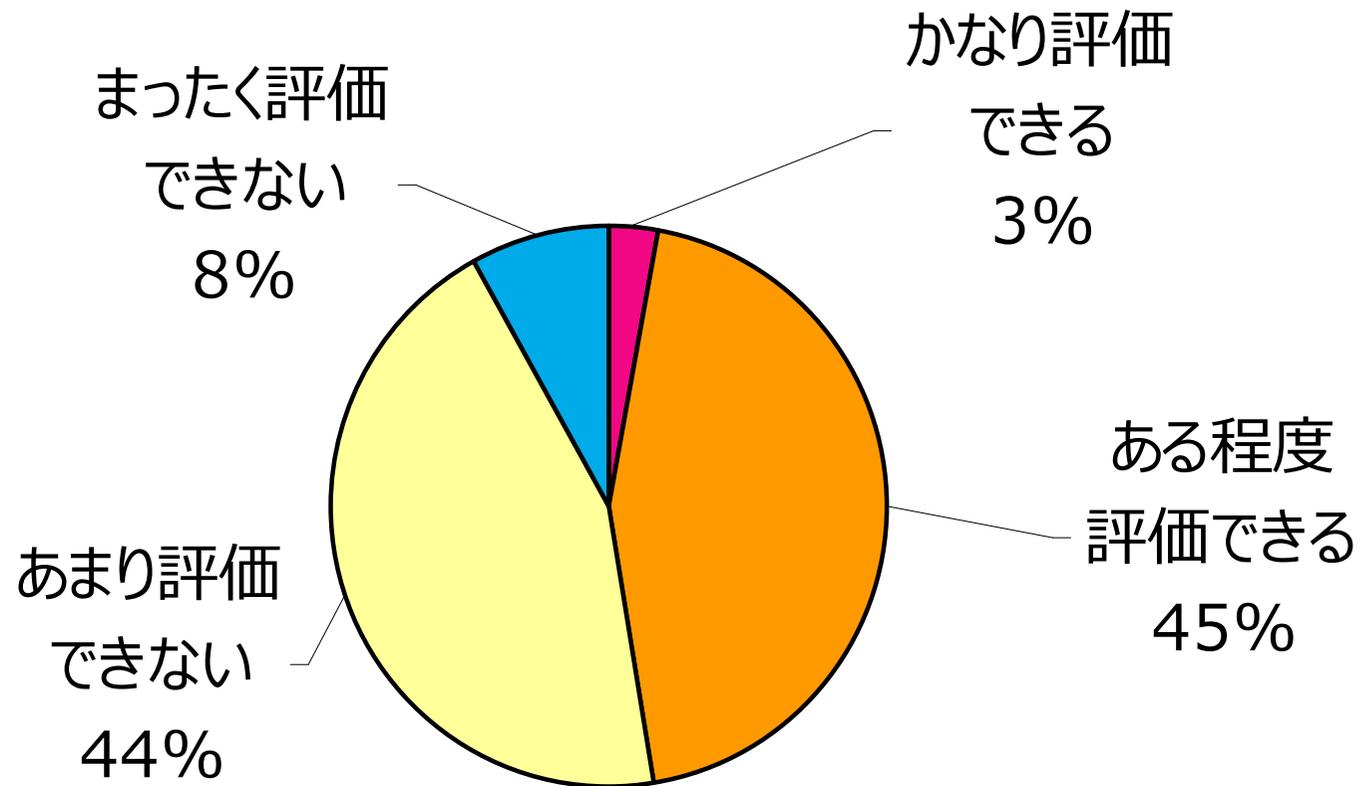
Q8. あなたは、この1年間のアベノミクスの政策をどう評価しますか？

■ 金融緩和・リフレ政策



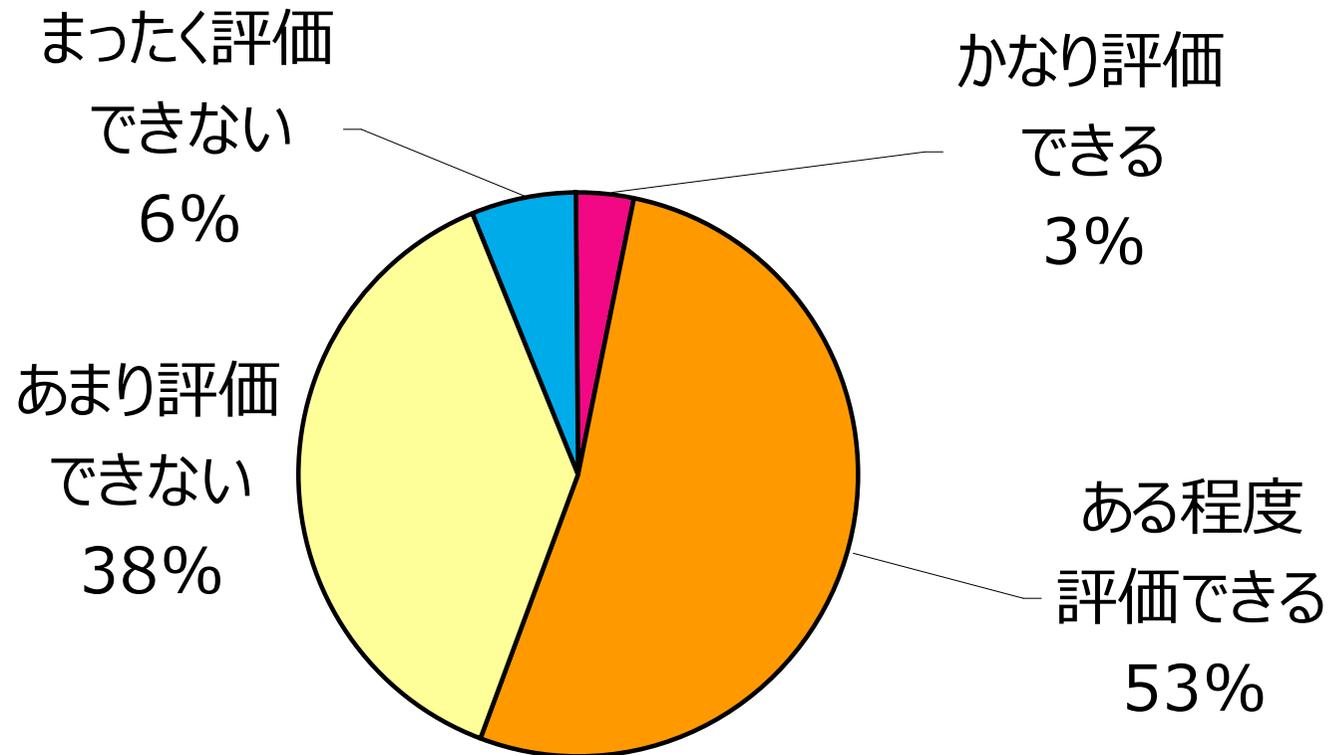
Q8. あなたは、この1年間のアベノミクスの政策をどう評価しますか？

■ 公共投資などの財政政策



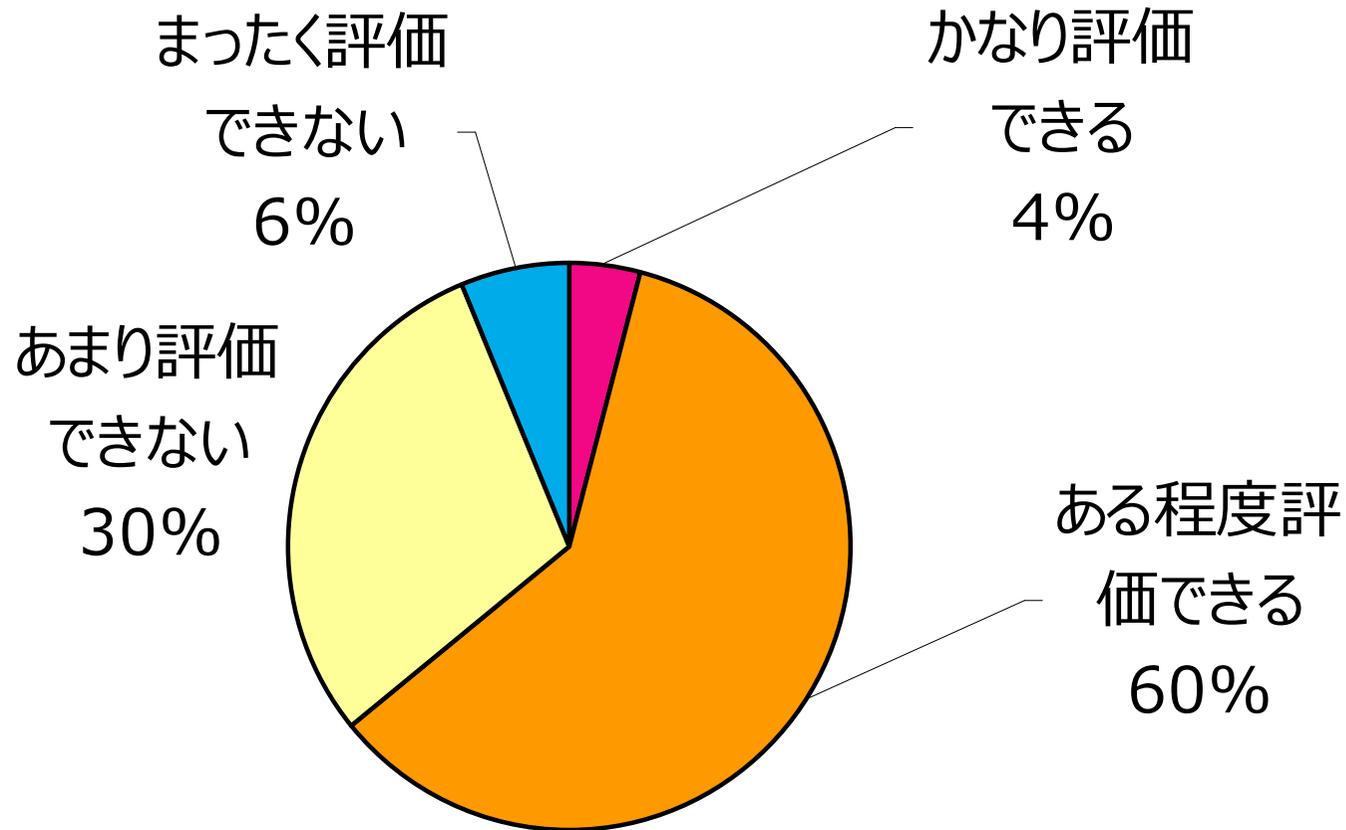
Q8. あなたは、この1年間のアベノミクスの政策をどう評価しますか？

■ 民間投資喚起・規制緩和などの成長戦略



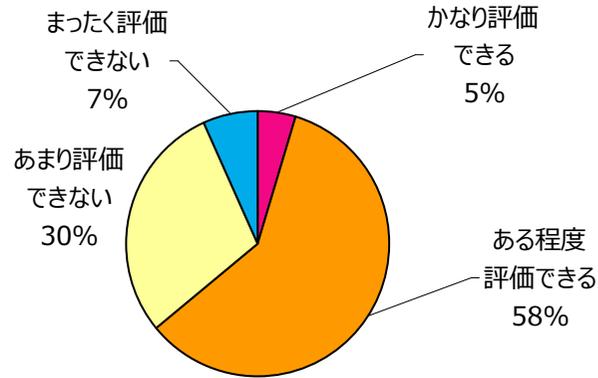
Q8. あなたは、この1年間のアベノミクスの政策をどう評価しますか？

■総合的に

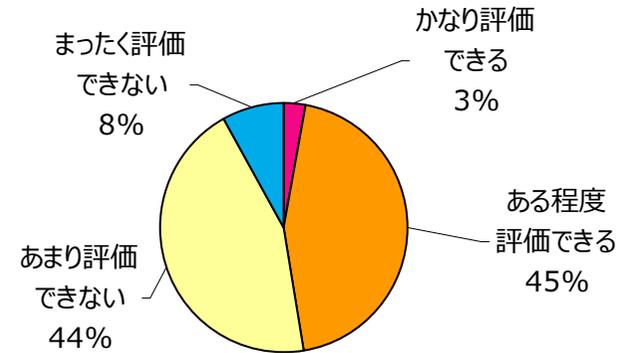


Q8. あなたは、この1年間のアベノミクスの政策をどう評価しますか？

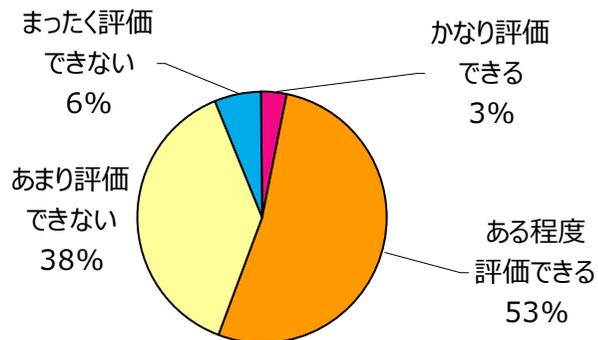
■金融緩和・リフレ政策



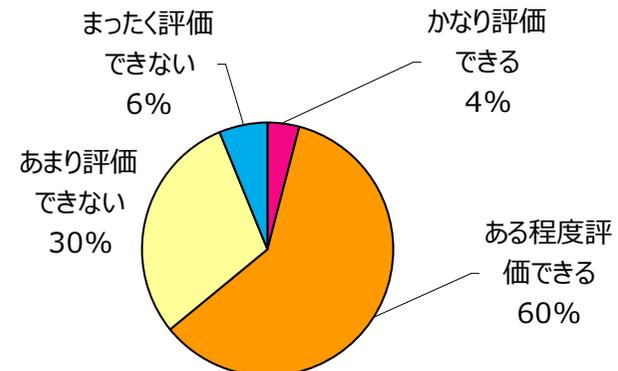
■公共投資などの財政政策



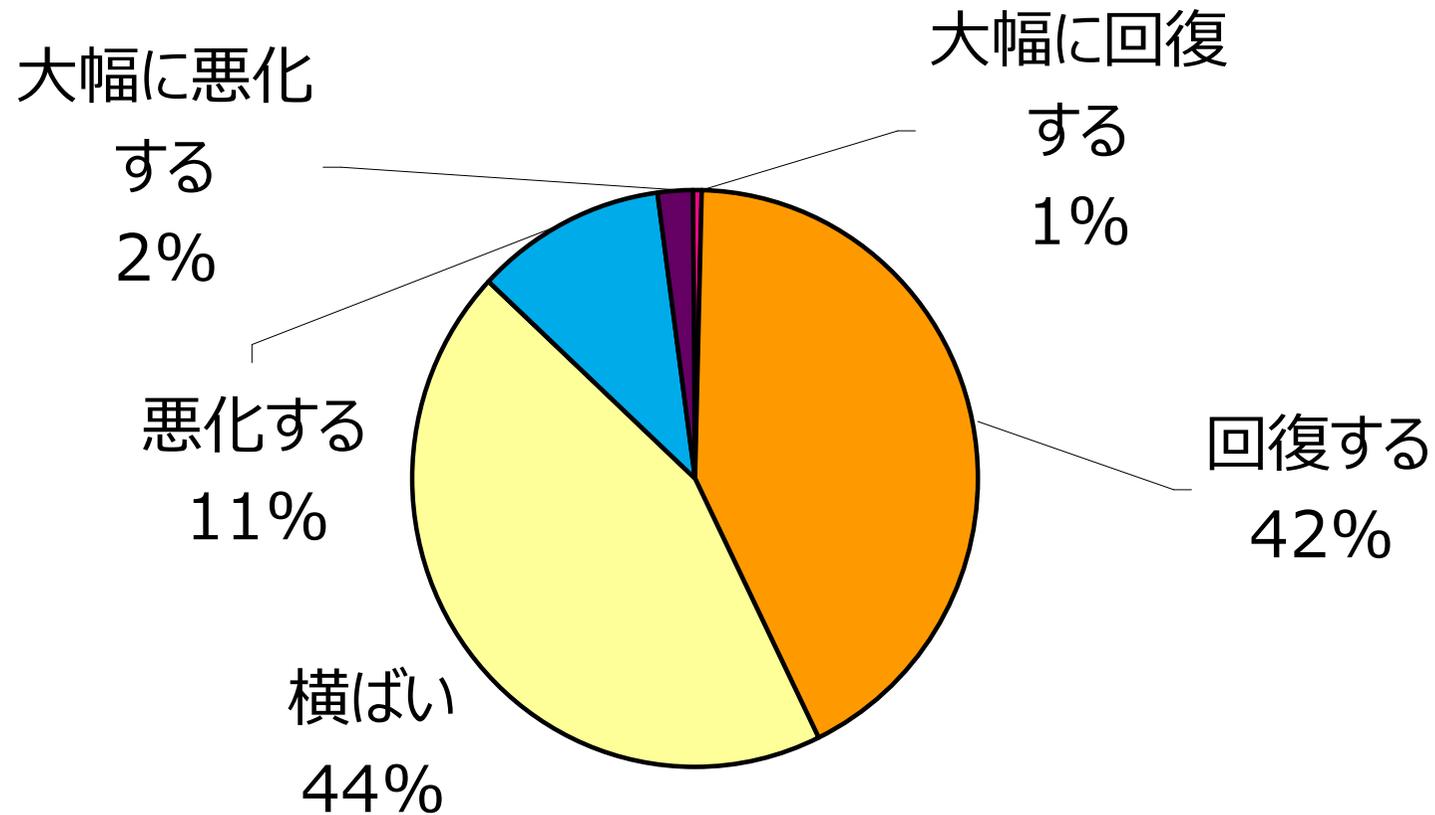
■民間投資喚起・規制緩和などの成長戦略



■総合的に

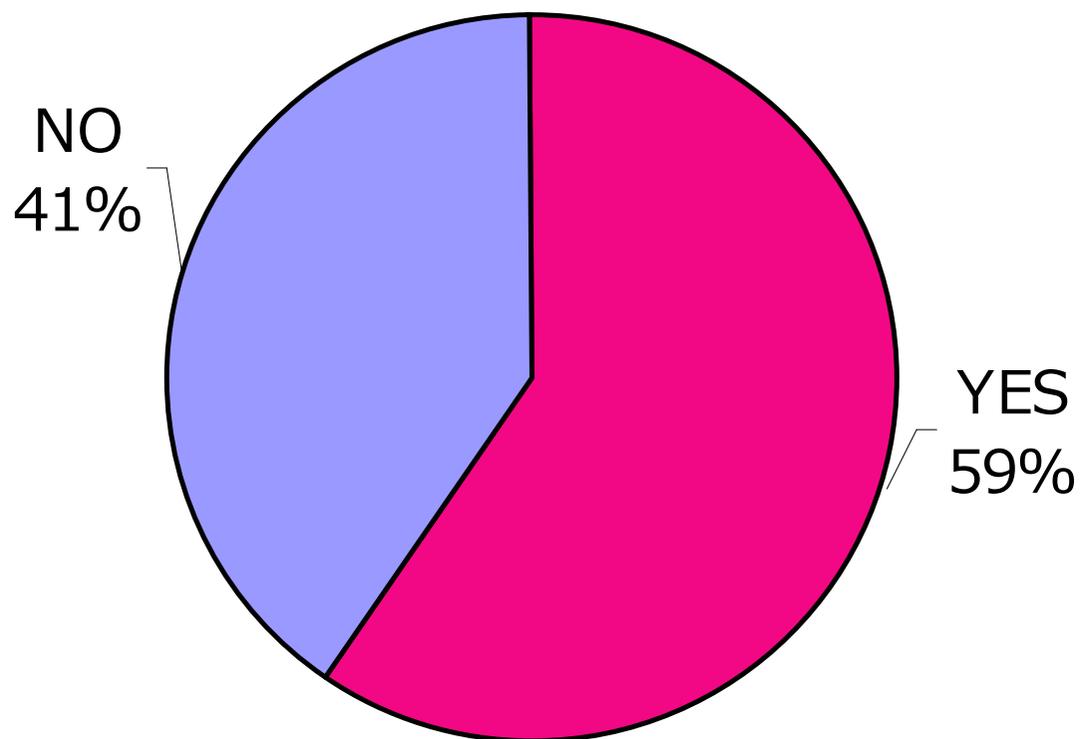


Q9. あなたは今後の景気はどのような方向に動くと思いますか？



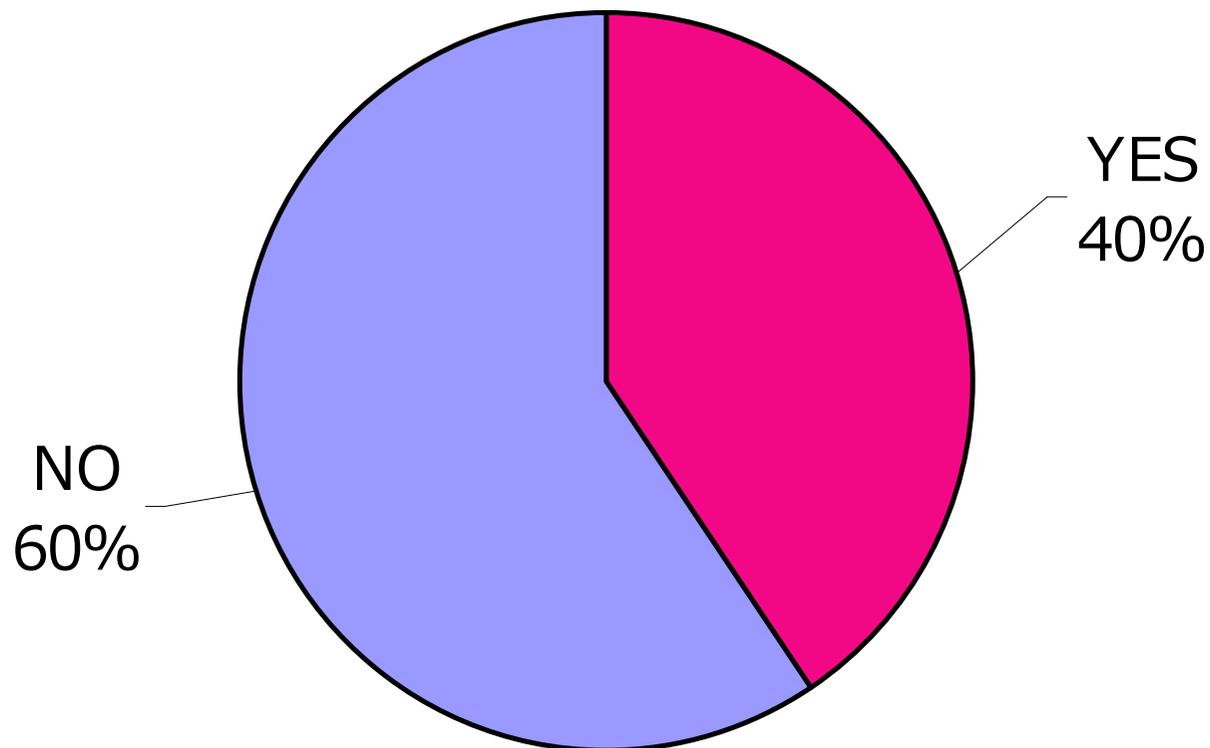
Q10. 日本企業がさらに元気になるために、あなたが今後の政治に期待する事は何ですか？

1. もっと金融緩和を進めるべき



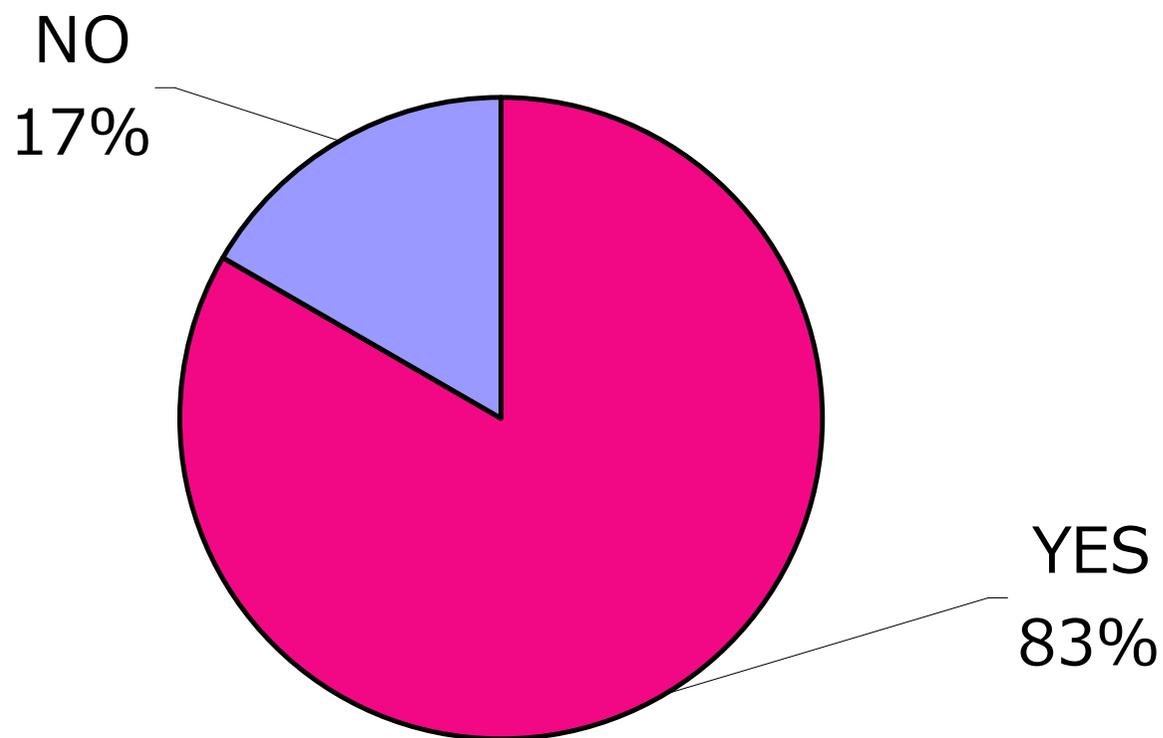
Q10. 日本企業がさらに元気になるために、あなたが今後の政治に期待する事は何ですか？

2.もっと公共投資を増やすべき



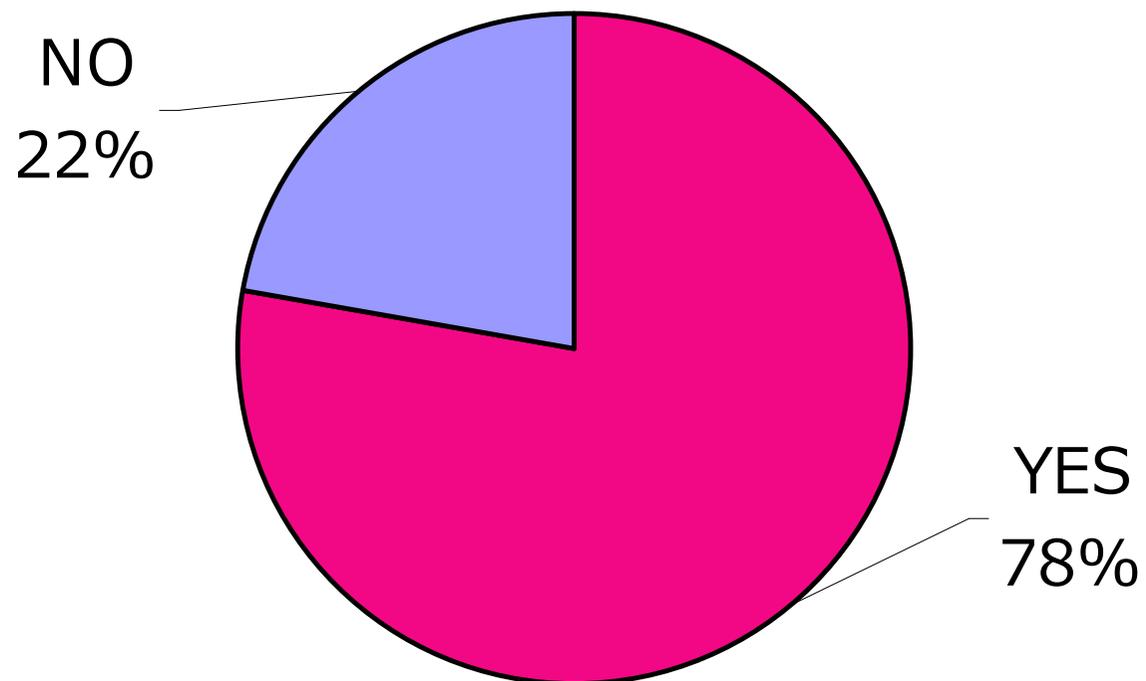
Q10. 日本企業がさらに元気になるために、あなたが今後の政治に期待する事は何ですか？

3. もっと規制緩和を進めるべき



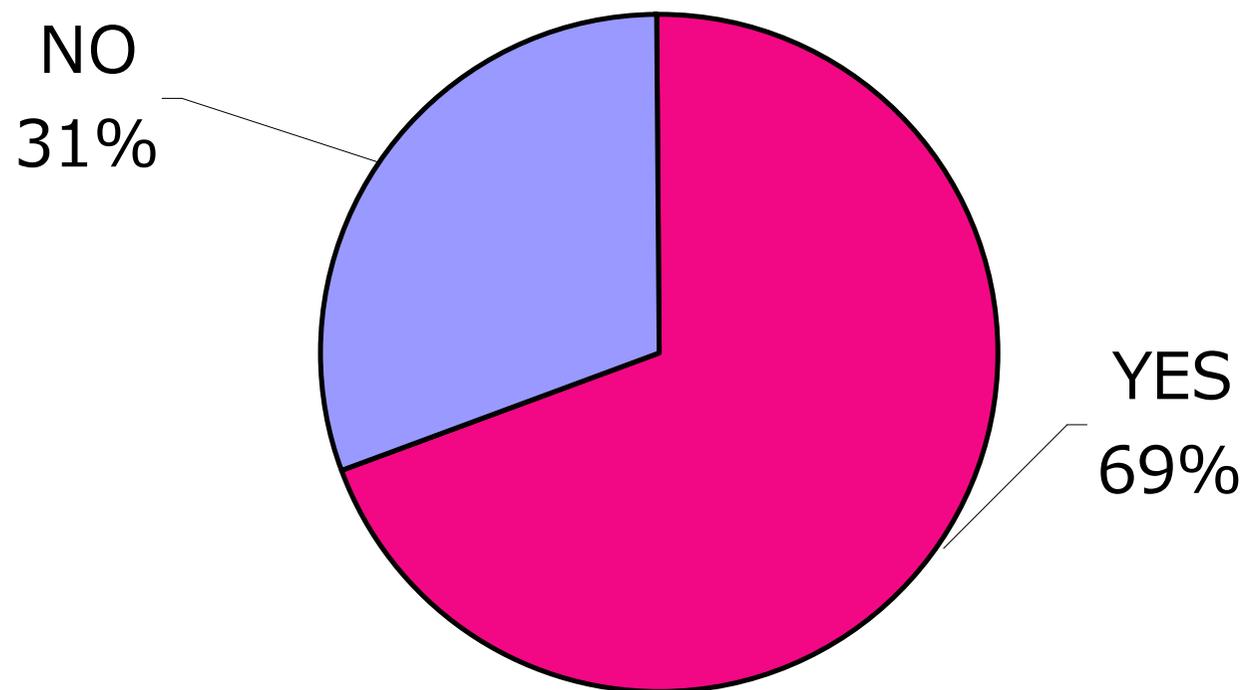
Q10. 日本企業がさらに元気になるために、あなたが今後の政治に期待する事は何ですか？

4. もっと官僚支配を打破すべき



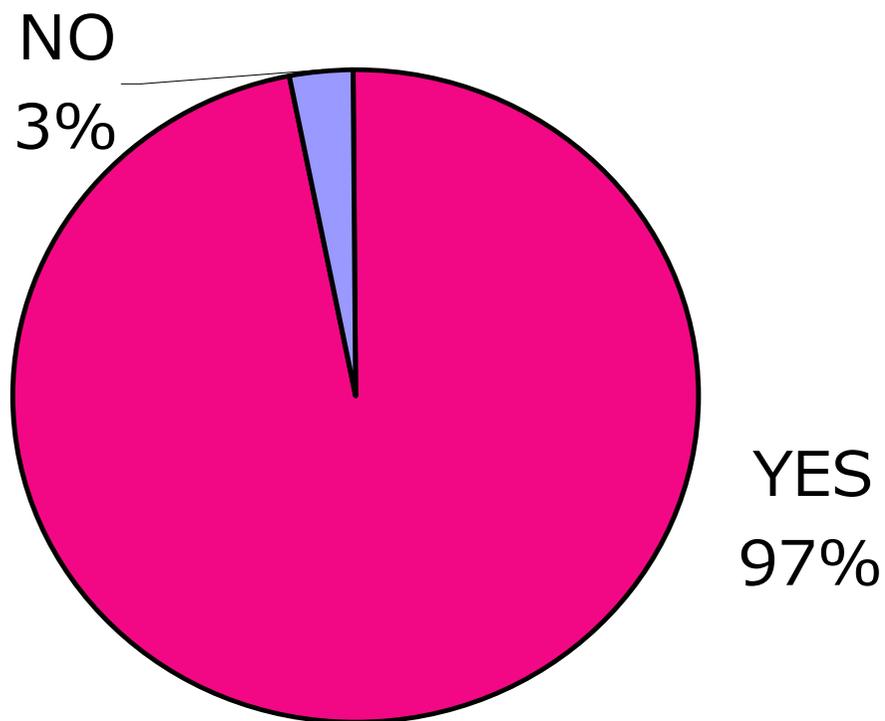
Q10. 日本企業がさらに元気になるために、あなたが今後の政治に期待する事は何ですか？

5.TPPに参加し経済発展を目指すべき



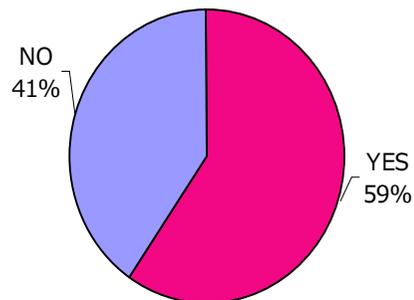
Q10. 日本企業がさらに元気になるために、あなたが今後の政治に期待する事は何ですか？

6.日本として成長戦略を明確にすべき

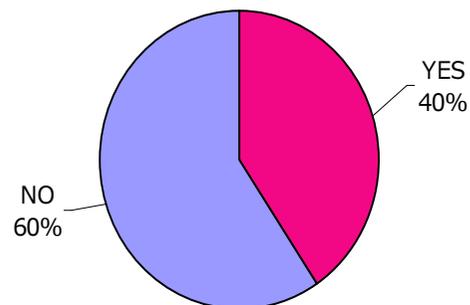


Q10. 日本企業がさらに元気になるために、あなたが今後の政治に期待する事は何ですか？

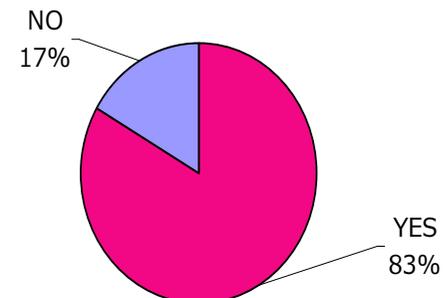
1. もっと金融緩和を進めるべき



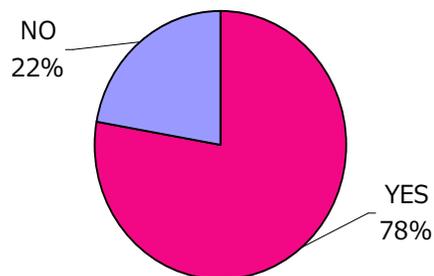
2. もっと公共投資を増やすべき



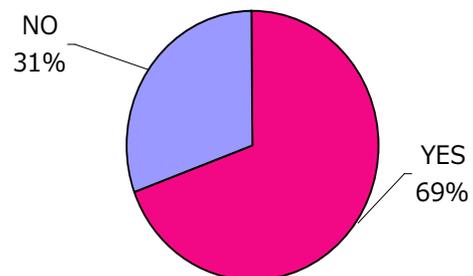
3. もっと規制緩和を進めるべき



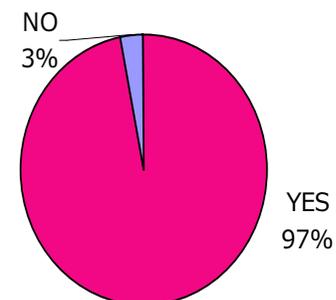
4. もっと官僚支配を打破すべき



5. TPPに参加し経済発展を目指すべき

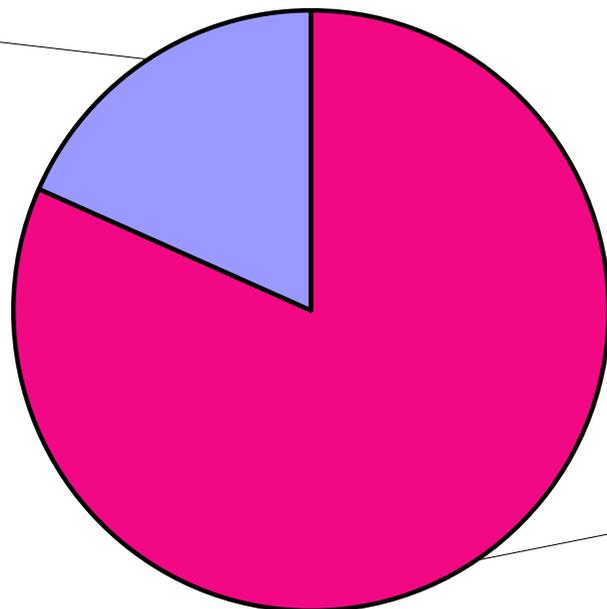


6. 日本として成長戦略を明確にすべき



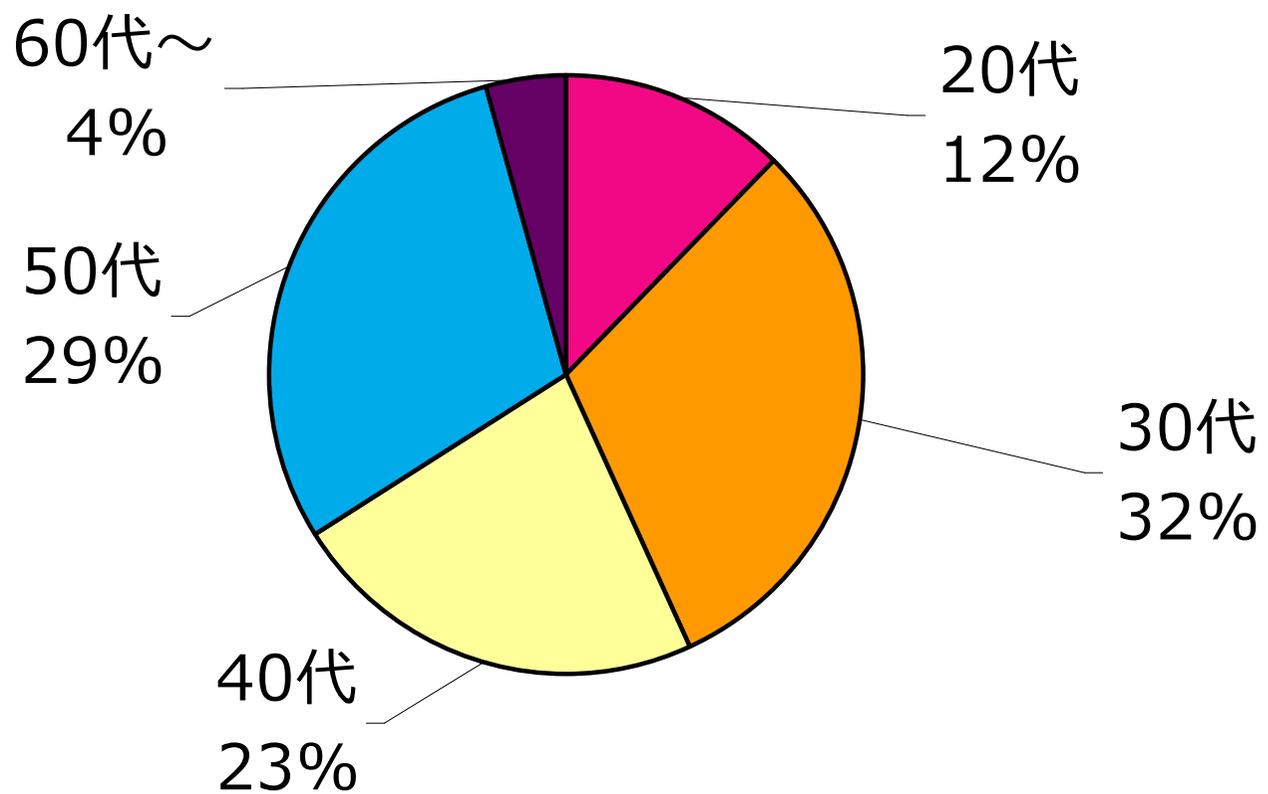
性別

女性
18%

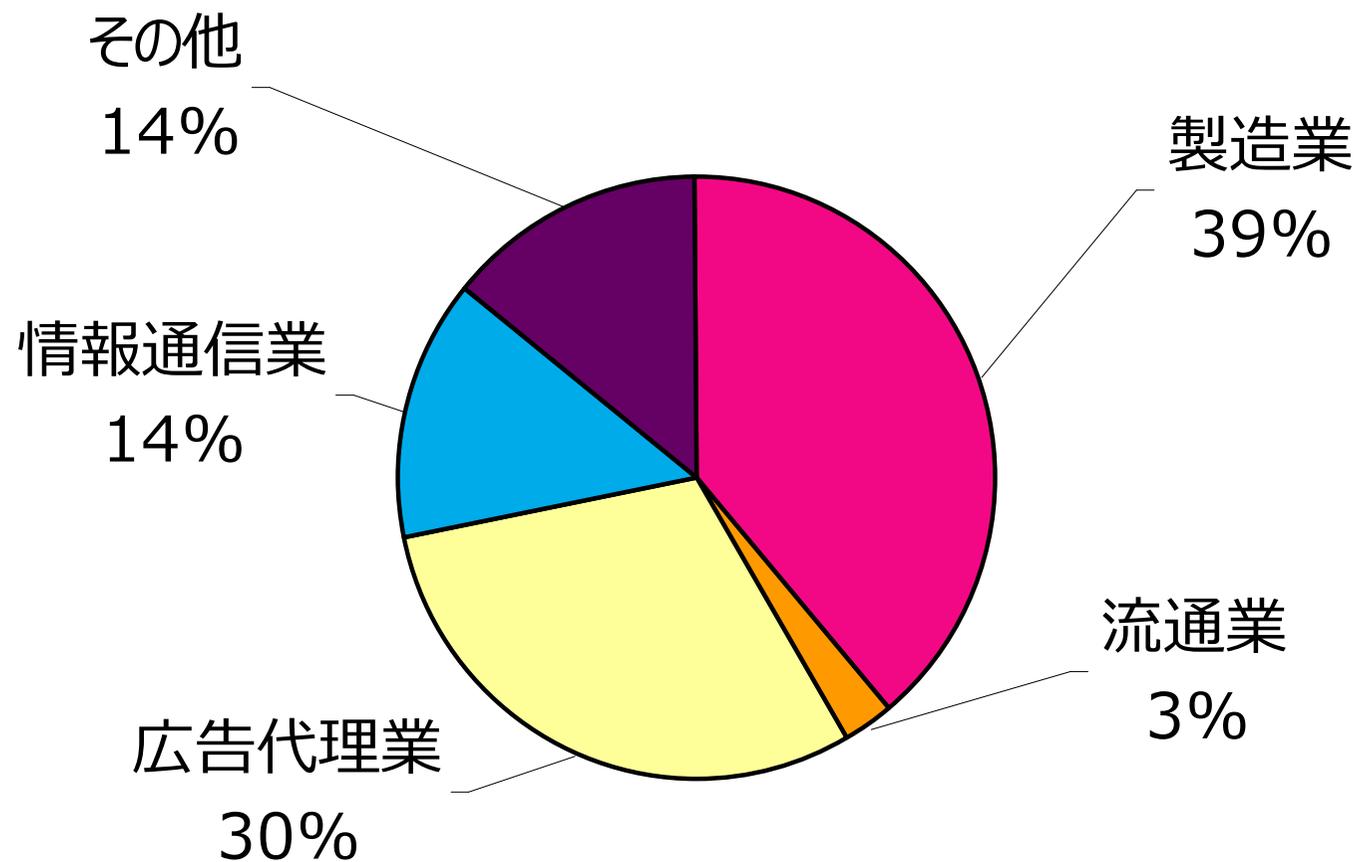


男性
82%

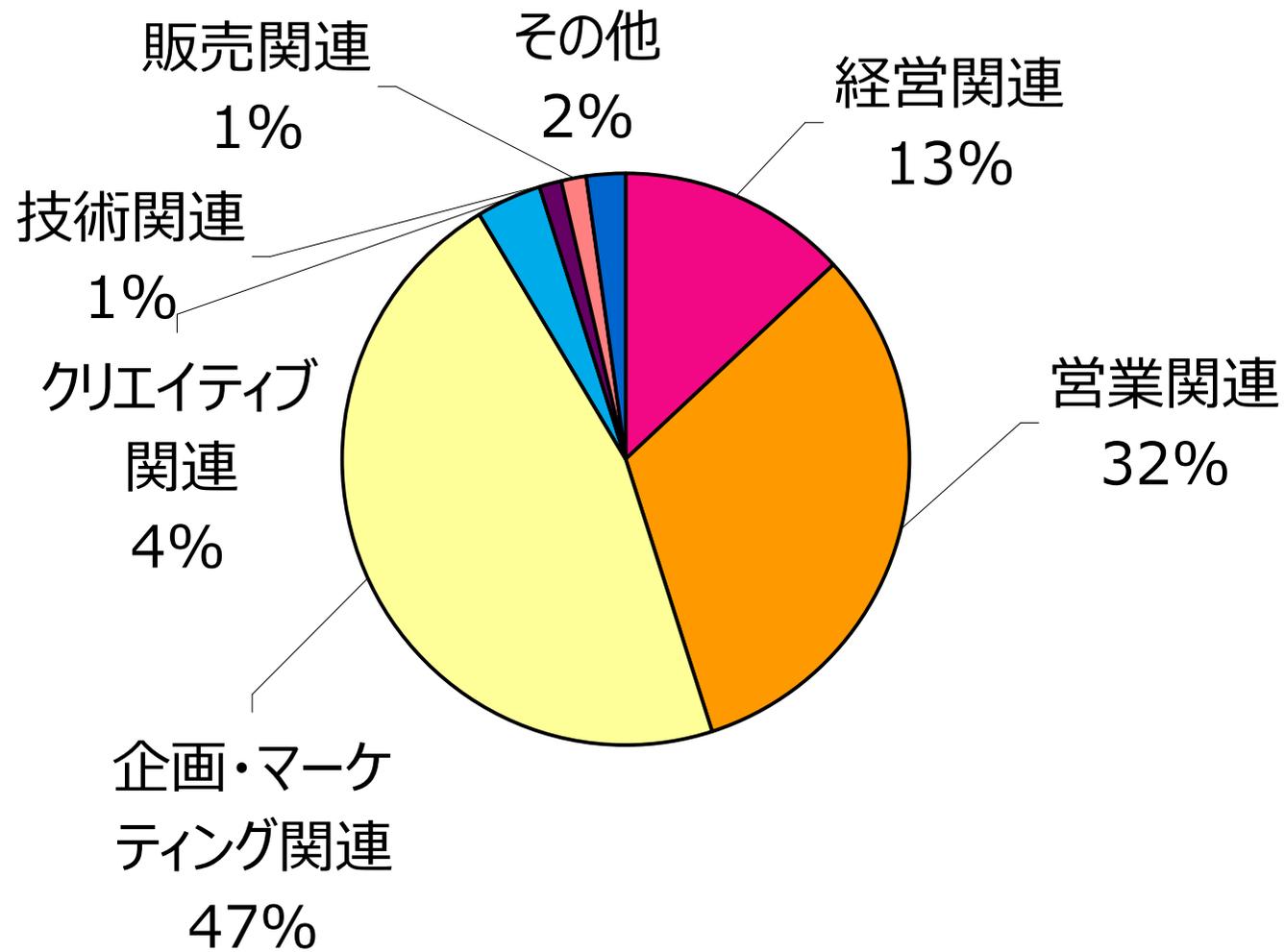
年齢



業種



職業



自由意見(1)

- ・ 実際に個人所得が増えてくる3年目(2015年)の消費者の動きに着目していきたい。
- ・ 決められない政治より評価できる。
- ・ 経済政策は支持せざるを得ないが、外交・防衛策は同意できないところも多い。数の理論で慢心しているのではないか？
- ・ 昔の良いころを知らないので、回復というよりは成長していくというイメージです。
- ・ 人口減少(少子化対策)の改善策を具体的に上げて欲しい。
- ・ 投票率をあげることが急務だと感じる。
- ・ 日銀黒田氏を携えて、後戻りできないアベノミクスはルビコンの河を渡った。成功を祈るしかない！しかし安保法制の暴走については頼んだ覚えはない！
- ・ 20年間、誰もやらなかった、できなかった現実がある。それに対して安倍さんは行動を起こしたことは評価できる。議論ではなく実践。
- ・ 1にも2にも少子化対策。対処療法的「子育て支援」ではなく、子供を産む環境を整えること(出産促進法)を講じるべき。
- ・ 政策がハード寄りで昭和チック。ソフト面のイノベーションを誘発する政策を望む。

自由意見(2)

- ・ 教育(世界に通用する人材育成)に力を入れるべき。
- ・ 消費税アップは良いが、所得税や固定税などダウンさせる税も必要。法人税は個人所得に直接影響していないと思われる。
- ・ アベノミクス頑張れ！安保法制の暴走はちょっと待て！って感じです。
- ・ 五輪への対応が遅いと思う。
- ・ 期待インフレを上げるようにもっと盛り上げてほしい。
- ・ 国防を進めて下さい。
- ・ 岸信介の孫という立場としての政治を行いすぎ。本来の課題に向きあうより祖父の思想を主張するばかりにとらわれ、思うがままに振るまい非常に危うい。
- ・ 憲法改正は、加憲にとどめるべき。
- ・ 金融緩和というカンフル剤と世界マネーの動きに支えられ、一瞬、日本経済が回復基調に見えているだけでは？ 金融緩和が実体経済の成長にリンクしないミニバブル状態。拡大する財政赤字、企業競争力の低下、所得格差等…問題は深刻化する一方と感ぜられる。
- ・ 安定多数(小選挙区マジックによる)に浮かれて憲法解釈の変更などに突き進む間に、世界からも孤立し、取り返しのつかない状態になりそうで恐ろしい……です。

調査概要

調査期間： 2015年3月24日～5月31日

調査対象： MCEI東京支部、大阪支部会員および研究会・セミナー参加者

調査方法：会場でのアンケート調査、およびウェブアンケート

回収数： 153（男性116名 女性26名 性別未回答11 20代～70代）

調査主体及び分析：MCEIコミュニケーション委員会